

昭和47年度日本気象学会藤原賞候補者推薦について（依頼）

日本気象学会
藤原賞候補者推薦委員会

委員長 齋 藤 鍊 一

拝啓 会員各位にはますます御清祥のこととおよろこび申し上げます。

さて、今年も「藤原賞」の選考にお力ぞえを賜わり候補者を御推薦願いたいと存じます。申すまでもなく、藤原賞は、故藤原咲平博士の偉大な功績を永く記念するため、博士の遺志を継いで気象学の進展に努められた優れた研究者を顕彰しようとするもので、昭和38年度から実施され、今日までに9回にわたり11氏に授賞されております。（別紙参照）

御推薦は、別紙藤原賞候補者推薦用紙に御記入のうえ、勝手ながら昭和47年1月15日までに、下記推薦委員会あてお送りいただければ幸いに存じます。

御多忙中とは存じますがどうぞよろしく願います。

（郵便番号 100）

送付先 東京都千代田区大手町一丁目 3-4 気象庁内
日本気象学会事務局気付

藤原賞候補者推薦委員会 あて

昭和46年度藤原賞候補者推薦委員会構成

齋 藤 鍊 一（委員長）

今 井 一 郎

樋 口 敬 二

松 野 太 郎

駒 林 誠（担当理事）

藤原賞受賞者名簿

昭和38年度 齋 藤 鍊 一 本邦の風に関する研究
39年度 宮 崎 正 衛 高潮の理論計算とこれ
宇野木 早 苗 を予想に発展させた業
上 野 武 夫 績
40年度 山 本 義 一 太陽および大気放射に

関する研究

41年度 真 鍋 淑 郎 大気の熱収支および放射平衡に関する研究

42年度 孫 野 長 治 雲巻理に関する実験的並びに観測的研究

43年度 坂 上 治 郎 大気拡散に関する研究およびその応用

44年度 高 橋 浩 一 郎 総観気象、気象統計に関する研究および気象学の普及に貢献した業績

45年度 福 田 喜 代 志 北日本の長期予報と日本の豪雪についての永年にわたる業績

46年度 福 井 英 一 郎 日本における気候学研究とその体系化および気候教育に貢献した業績

なお昭和32年から昭和36年まで日本気象学会岡田賞がもうけられており、次の5氏が受賞されております。

昭和32年度 岸 安 勘 三 郎 日本における数値予報の発展と実用化

昭和33年度 小 平 信 彦 日本における気象レーダーの研究とその実用化

昭和34年度 藤 田 哲 也 中気象学（メソ・メテオロロジイ）の研究

昭和35年度 鈴 木 清 太 郎 農業気象学の研究

昭和36年度 渡 辺 貫 太 郎 海水に関する研究